

**授業参観・PTA講演会 6/29・7/2**



先日は、授業参観、PTA講演会がおこなわれ大勢の保護者の皆様にご参加いただきました。今年度初めての授業参観でしたが、お子さんの様子はいかがだったでしょうか。また、新型コロナウイルス感染防止のため、時間を区切った参観にご協力いただき、ありがとうございました。

その後のPTA講演会でも、大勢の方にご参加いただきました。計画、当日の運営をしていただきました人権教養部員の皆様、ありがとうございました。

**< PTA講演会 稲荷山養護学校 田中美鈴先生 >**

**「子どもの健やかな育ちのために～大人ができること、したいこと～」**



**1 自分の価値観を知ろう**

5年くらい前に、大阪の住吉区に2006年に新設された大空小学校の初代校長の木村泰子先生の話を知りました。その小学校は、児童数220人のうち、特別支援教育が必要な児童が30人を超える学校です。その学校は不登校ゼロ。すべての子どもたちが同じ教室で学習している学校です。その校長先生が、大勢の先生たちの前で言いました。「先生が何一つ変えようとしなくて、子どもを変えようとしている現場では、大きく変わっていく世界に通用する子どもは育たない。一人の価値観が逃げ出す子を作る。他人を変える前に自分を変える！」この言葉は胸に刺さりました。自分の価値観にはまる子がいい子で、はまらない子は「ダメ」そんなことはありませんよね。

見る人が替われば、その子をどう思うかも変わります。私たち大人、自分の持っている価値観は絶対ではないということ。子どもが自分の価値観とずれているなと感じたときに、それを〇か×かで評価するのではなく、別の見方はないか、違う角度から見られないかと考えてみるのが大切です。環境を変える、対応を変えることでうまくいくことがあります。

**2 リフレーミングとは**

リフレーミングとは、ある事柄を捉えている枠組み（フレーム）を違う枠組みで見直してみる。見方を変えるということです。

**3 子どもの発達の「特性」発達障がいとは**

次は、お子さんを「発達の特性」という視点からとらえてみましょう。大人からみて気になる点をお子さんの気持ちになって考えてみましょう。

大人から見て「困るなー」と思っているお子さんの行動や苦手さは、「お子さん自身も困っているのでは？」という考え方の紹介です。

例えば、社会性、人とのかかわり方が苦手だと、自分勝手と思われてしまうことがあります。例えば、休み時間、ボール遊びをしているお友だちの中に突然入って、勝手にボールを取って自分

突然ですが…質問です

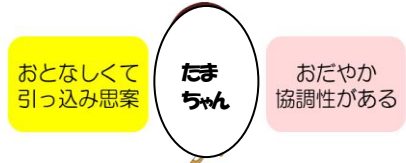
③家の軒先にツバメの巣



練習してみましょう



練習してみましょう



のやりたい遊びをやるように友だちに強要する。本人は、自分が思いついた楽しい遊びをみんなに教えてあげて、一緒に遊びたかっただけ。そんな子は悪気はないので叱られたり責められても「なんでいけないの？」と悲しくなってしまうのです。

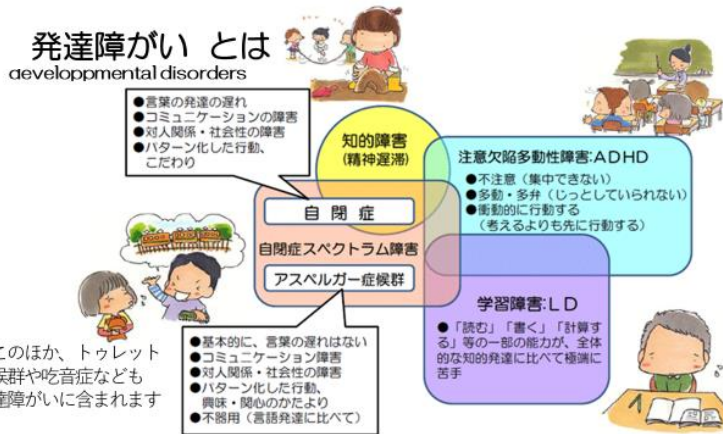
「空気が読めない」 例えば、いつもと違う服を着ている友だちに「その服変だね」と言う。思ったことを言っただけ、ほんとのことを言っただけ、悪気はないのです。このようなお子さんたちは、自分がどうしていけないのか、何を怒られているのか、察することができず、「おこられた」という気持ちだけが残ります。



「子どもが困っている」という考え方



大人が「困った子」と感じるお子さんは、**本人がそれ以上に困っているのです**



今お話ししてきた「うまくいかなくて困っているお子さん」のなかでも、その困り方が大きかったりしょっちゅうだったりするお子さんの中には発達障がいのお子さんがあります。「発達障がい」最近よく聞くようになった言葉ですので、なんとなくイメージのある方も多いでしょう。

#### 4 子どもにしてあげられること、してあげたいこと「どの子にもしたい『かかわりのポイント』」

- ① 手や口の出しすぎは「ひとまかせ」を強める
- ② やめさせたいことは私メッセージで叱る、またはスルー。して欲しいことはほめる
- ③ 大人が決めること、自分で決められることを明確にする
- ④ 間違いは素直に認める。大人が守れない約束はしない
- ⑤ ほめる機会をつくるための手伝い (できることで「ありがとう」を言われる経験を)
- ⑥ 一緒に活動する楽しさをたくさん体験する
- ⑦ 手がかりやヒント、手伝わなくても最後まで取り組めること (「がんばったね」を言えるチャンス)
- ⑧ たまたまは本物ではない。励まして頻度を高める ×「この前できたでしょ」○「またできたね」
- ⑨ 何をほめられたか、何を叱られたのか、どうすればよいのかを明確に伝える (理解しやすい方法で=短く言う、その場で言う、描いて見せる、やって見せる)
- ⑩ 子どもが何を身につけたのか確認する。(「〇〇できたね」)

学校はご家庭との連携を望んでいます。お子さんの様子について情報交換と共有をしましょう。お子さんのためにできることに一緒に、チャレンジしましょう。



#### <保護者の皆様の感想より>

子どもとの関わり方、伝え方を改めて考える良い機会となった。小さなことでも褒めていきたい。いろんな考え方があることを前提に否定はせずに、受け入れることが大切だと思った。

子どもが3人いますが、誰一人として同じ性格の子はいなく、つい、上の子ができたことができなかつたりすると比べてしまっていたのですが、その子の個性として捉え、親としての対応を変えていこうと思いました。子どもの人数分だけ、親としての対応の引き出しも多くなるので、常に日々勉強だなと思います。

「できないなあ」と思うことは「困っている」と考えてみる。今後はその見方で子どもを見てみようと思いました。子供の成長のためには、結果として、自分を変えることになっている。子育ては自分育てだなあと感じます。



# 1・2年生 七夕かざり作り



1・2年生の廊下には、生活科の時間に作った七夕飾りが艶やかに飾られています。星や、くさり、提灯、あまのがわ…すてきな飾りがたくさん。そして、それよりもさらに、すてきなのは、一人一人が願いを込めて書いた短冊です。子どもらしい夢がたくさん！  
かなうといいです。



## <1年生の短冊より>

- ☆たこやきやさんに なりたいです。
- ☆やきゅうちいむにはいれますように。
- ☆コロナがよくなって、いとこのおうちにいきたい。
- ☆ヘラクレスかぶとむしをあみでつかまえたい。
- ☆きのぼりをうまくなれますように。
- ☆あいすやさんになりたい。
- ☆あしがはやくなりますように。
- ☆いいゆめが、みられますように。

## <2年生の短冊より>

- ☆ようぶくのデザイナーになりたい。それは、おしゃれがすきだから、ようぶくをデザインしたいです。
- ☆九九をかんぺきにおぼえたいです。
- ☆しょうらい、ほいくえんの先生になりたいです。ママがやっているからです。
- ☆しょうらいのゆめは、バスケットせん手です。パパがバスケットをやっているから、パパをおいこしたいです。



## 児童が安心して学校生活を送るために



長野県教育委員会は「わいせつな行為根絶のための特別対策」を策定し、全県での取り組みを進めています。わいせつな行為は被害者の人権を踏みにじり、子どもたちや保護者をはじめ、学校教育に寄せる信頼を著しく失墜させる悪質な行為であり、絶対に許させるものではありません。学校としても以下のような校内ルールを明確化し、非違行為防止研修をおこないました。全職員が共通認識を持って、児童が安心できる学校生活を守っていきたいと思います。なお、学校の相談窓口は保健室の松田先生（養護教諭）となっています。ご心配なことがありましたら、ご相談ください。（もちろん、担任、校長、教頭・・・誰にでも気軽にお声がけください。）



### 児童が安心して学校生活を送るための校内ルール

1. 相談等ではドアを開放したり、複数で相談に応じたりする。やむを得ない場合は、校長等に連絡の上、指定された場所で行う。
2. 教室、特別教室、その他諸教室の管理等を適正に行う。
3. 私的な電話、メール、SNS 等によるやり取りはしない。
4. 教育目的外はもちろん、教育目的でも不必要な児童の撮影や録画、録音をしない。
5. 教育目的外で児童に性に関することを話題にしたり、質問したりすることはしない。